

資格検定NEWS



CC0 Creative Commons
商用利用無料
帰属表示は必要ありません

非営利目的での再
利用が許可された
画像

AI（人工知能）と仕事

AIという言葉をよく耳にするようになりました。コンピュータの発達に伴う影響は、私たちの日常生活にどのような変化をもたらすのでしょうか。朝日新聞 2018年1月7日付けの記事に国立情報学研究所の新井紀子教授の次の言葉が紹介されていました。

「AIに仕事を奪われないためには、意味を考えること」

「AIは決められたルールのある分野でしか性能を発揮できない。意味を考えることが必要な仕事こそ、人間がすべき仕事だ。」

私たちはつい試験で良い点を取ることや、順位を気にするあまり、結果の暗記や結論の整理に気を取られて、途中の過程を吟味したり、結果に至った過程の考察を軽んじていないでしょうか。

意味を考えることの楽しさは、現段階ではまだ、人間に残されている「人間らしさ」の特権です。

「なぜ？」と疑問を抱いたり、「どうして？」と疑ったり、「他に見方はないのか？」と視点を変えたりする楽しみを追うことを大切にしたいと思います。

『行動経済学まんが ヘンテコノミクス』 佐藤雅彦、菅俊一（原作）の中には次のような人間の心理が紹介されているそうです。

「成功率80%の手術」を「死亡率20%」に言い換えると急にリスクを感じる人も多い。